

仏法僧の三宝（さんぼう）を敬い奉るべし

普泉寺住職 小山 貴大

修証義第三章第十一節

次には深く仏法僧の三宝（さんぼう）を敬い奉るべし、
生（しょう）を易（か）え身を易えても、三宝を供養し
敬い奉らんことを願（ねご）うべし、西天東土（さいてん
とうど） 仏祖正伝（ぶつそしょうでん）する所は恭敬（く
ぎょう） 仏法僧なり。

現代語訳

次に深く仏様、法、僧侶、の三宝を敬い奉るべきである。
どのような状況になっても三宝を供養し、敬い、奉るこ
とを願うべきである。インドでも中国でも仏祖が正しく
伝えてきたのは、仏法僧を恭しく敬うということである。

田中良盛著 修証義の教え より引用